大正十年十月二十一日 第三種郵便物認可
昭和十四年二月十五日
磐城新聞
〔家庭〕
第五千四百四十七號 （一）

夕刊
磐城新聞
二月十四日發行
發行所 磐城新聞社
（日曜祭日翌日休刊）
東京振替一〇六〇五五八五番

天氣豫報
小名濱測候所觀測

今晩も明日も北西の風晴後曇

閑語句漫筆集稿 老犬リケーに訊く (48)
大井川幸隆

弱ひて果敢に物を言へば待つてゐるものは鼎カカである。キリスト程に徹し切れぬ近代インテリは十字架や鼎カクに縦容として甘するほどのマゾイストではないからだ。

閑話休題、老犬リケーの世界觀は地上天國である。自分が天の下に居るのではない。天が自分の上にある。自分が地の上に在るのではない。地が自分の下に在るのだ。このリケー的詭辯の信念は自分を強くする。作然、天が自分を蔽ふてくれることを感謝し、地が自分を載せてくれることを有難く思ふ心に發るはない。

リケーは地上に天國を見出したら、多くの人間はたのしみを好み、利慾を滅みす。色を漁し、天國にまつる…行きの勢丈を經とをなくし、敢て人間をしふ。何となれば、…術を窮める者の足場を…じ働き延獄に晒らしてる…罪を犯行する者は人間扱ひをさげるものであらう。スヰフトの寓話では人間を馬に嘲はせたが…ねてゐる。人間の…ようとせず無條件で人間を崇拜するといふのがフランシスの犬の瞑想である。がさうも、これは十八世紀の諷刺的ラヂカルであり二十世紀の諧謔が婉曲であるが爲さない。

文化が進んだと云つても人間は自然を征服するより自然にせい服されてゐる場合が多い。体裁よく云へば、人間は自然との闘争によつて生活してゐるとなすのも一面の觀方であるが、他面からすれば、人間は物に使役せられる動物だとも云ひ得る。成る程、人間の智能は巨萬の富を築くことも出來るが、その富を集めるのが人間の力量であつても蓄積せられた富は動々もすればその間人を奴隷としてゐる。人間の知能は海、陸、空を征服する機械を發明しつゝある。その發明が完成した曉には、人間は出現した機械に遠慮なく使役されべき被制的をもつ。精密生産機械の出現しない昔しに還つては、人間自身が動的に働いたが、近代工業のベーとエンジンに容赦なく人間を使役しつゝある。飛行機や汽船が旅客や貨物を搬輸することと發利器寶で人類はこの文明の光彩に浴してゐる。

又人を送りて
大阪 鈴木一蓮

○生と死の境をのせてゆく汽車を・紙旗振りて今日も送れり

○ゆく人を待ちゐる驛に片足を落せし兵の杖つきゆきぬ

○旗振れば笑みてデッキにこたへます征旅に立たむみひとみの色

その節
○
句自題 齋藤猪一郎

降魔布武豈辭艱
征戰三年未曾還
百萬皇軍無一敵
直衝黄河到天山

2月15日
△米使ペルリ來航（安政元）△東京に癈兵院開設さる（明治四〇）△第七十議會再開（昭和一二）△支那三中全會開會（同）

講談 恩讐無道 (27)
久我荘多郎 香川三十代畫

―天の巻― 落武者（十一）

灯火のあるところまで行くには峰傳ひに登つたり降りたり、かなりの道程があるのだつた。それにしても、そこまで行けば人家があるし、道をたづねることが出來るし、何か腹へ入れるものも貰へるだらうと思ふと、心は勇んだし、足も、疲勞を忘れたやうに軽くなつた。

やがて、その火は人家から洩れてゐるものでなく、誰か谷底で焚火してゐるのだとわかつた。

樵夫獵師なのだらう。

專藏は、灌木の密林を拔けて、その方角へ急いだのであるが、寂寞としたあたりに、向ふの話聲が聞こえる地點まで來ると、

『おーい』

と呼んでみた。

聲は、目の前の山に當つて反響する。

向ふの話聲が、ぴたりと歇んだ

『おーい』

と、また呼ぶ。呼びながら、專藏は、駈け出した夏の夜の虫のやうに、灯影を慕ふいそがしさである。

樹の間に、見え隠れに火影が見えてゐる。

密林が切れて、すぐその草原に出てみると、火はその一隅に燃えてゐるのだつた。

五六人の男が、それを圍んで坐つてゐる。專藏が近づくのを、向ふは振返つて見るのである。

專藏は、人なつこげに急ぎ足で近寄つた。

『旅の者なので。道に迷つてしまひ、すつかり難澁してゐるのだが……』

『それア、お困りでござんしよう』

と、なかの一人がいつた。

專藏の見たところでは、彼等は樵夫に違ひない。野天で暮してゐることの多いのは、皮ふの色がどうのやうに淺黑いのでもわかるし、目を睜つて、その間は、ずつと、かうして山で暮し…のみ、髪も鬚も無精にのばした男たちだ。

『村里からこゝは、ずいぶん離れて居りますよ。一體どこからいらつしやつた?』

さつきの男がいふ。

江戸……と云はうとしたが、專藏は、あやふく聲をのんだ。この男たちも時代の騒擾を知つてゐるだらうから濁なことは口ばしれない

『……高崎を出て日光の御廟に參詣したいと、川傳ひに來たものだが……』

『それア見當違ひだ』

一同が、くすくす笑つてゐる。

『方角が違つてゐますよ。まるつきり……何にしてもお困りでござんせう』

『うむ。道を教へてもらひたいと思ふ。それから、なにか食物があつたら、譲つてもらひたいのだ。晝から何も喰つて居らんので、實に閉口してゐる』

『よろしうございます』

最初から口をきいてゐた男が、誰よりもひとく愛想よく…防…ある枯木の枝をぽく／＼折つて、焚火の中へ投げ込みな、

『お寒いでせう。なんと山中は冷つ……。…、大層お召物が破れてゐますね。おけがもしてるからつしやるやうだ。うむ、わたしたちの着物をお貸しいたしませう。汚いがそれを着て、ゆつくりくつろぎなすつたら――いづれ朝になれア道はお教へいたします』

專藏は生き返つた氣持で、この親切な言葉に微笑した。

『忝ない』

帶を解かうとして立上つて腰へ手を廻した。その瞬間である。專藏の横に笑つてゐた別な男が、いつの間にかうしろへ廻つて急に專藏に躍りかゝつた。

簡易ノ金融
磐城無盡
趣味ノ貯蓄
出張所縣内各町村

平病院（平市元共濟病院跡 電話六四一番）
院主 醫學博士 鈴木定藏
內科 小兒科 院長 鈴木定藏
內臓外科 一般外科 皮膚尿泌器科 副院長 高橋俊幸
レントゲン科 物理的療法科 院長 鈴木定藏
藥劑科 部長 吉本孝平
……診療……毎日午前八時ヨリ午後九時迄、夜間診療ニ從事ス（急患ハ此ノ限リニアラズ）

日本石油株式會社特約店
福島縣平市一丁目（電話六十一番）
株式會社 關彰商店平支店
本店 茨城縣下館町 電話五五、三三九番
支店 茨城縣土浦町田宿 電話六五三番
茨城縣久慈町 電話一三七番
茨城縣多賀郡 大津 電話一四七番
關本驛前 電話平潟五四番
福島縣四倉驛前
福島縣小名濱町 電話四八番
油槽所 常磐線泉驛前
海岸給油所 大津港、平潟港、江名港
ガソリン給油所 土浦町新國道日本石油給油所 電話八二番四

皮膚科 泌尿器科 性病科 專門
診療時間 午前八時ヨリ午後九時マデ
平市田町 江尻醫院 電話六九一
醫學博士 江尻伊三郎
入院隨意

小店員募集
年令十四五才ヨリ 御希望の方は委細面談
平市五丁目 山崎時計店

高久病院 平市田町（電話五三一番）
內科 小兒科 醫學士 高久忠
外科 花柳病科 新潟醫學士 赤羽清
耳鼻咽喉科 藥劑士 佐竹菊雄
（看護婦至急募集）

耳鼻咽喉科專門 醫學士 鈴木正男
平市田町（電話五八番）藤田女學校前
『入院のお需めに應ず』（看護婦及ビ見習看護婦募集）
齒科 口腔外科 日本齒科醫學士 鈴木吾政
內郷村高坂 磐炭病院前
鈴木醫院

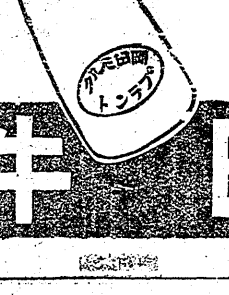
旅舘 大幸舘
電話下谷83六七七番
東京上野驛前 下谷郵便局横通角
私は平市出身ですから特に郷里の皆様方の爲めに御便宜を圖ります
主人 比佐棟雄

實株は買ツテ御手元へ
必ズ儲カル優良株
投資指針
●支那事變公債四萬圓マデ買マス
平市四丁目三十三 富岡株式店 電話二五八

銘木（床ノ間材）
天井板、ベニヤ板買ふなら
確かに御期待に添ふ良品廉價の
織田材木商店へ
福島縣平市 電話平四六〇番
營業種目 建築木材一式 銘木・ベニヤ板 秋田産杉四分板 建具材・便利瓦
一變せる勉強振りを、ぜひ一度お試しを乞ふ
◎小店員募集 年齢十五歳ヨリ廿歳迄

◆內科、小兒科 院長 前田清美
◆外科（內臓外科、花柳病科）
◆産婦人科 副院長 幸恒足
◆耳鼻咽喉科 副院長 兒玉秀純
X光線科
（手術室入院室完備）
前田醫院 植田町本町 電話一二四番

低温殺菌
岡田牛乳
断然一賣行よし
信用と品質と共に備つて
平市鎌田町 電話五一



品質第一
電話二六八番
平牛乳舍
平市・九品寺前

日本姓名學會東北支部長
鵜沼孝昌
平市紺屋町 三六

鑑定項目
名前のみで一代の運命 何んでもわかる……
体力 肉体 疾病（健康、不健康、相貌）（病根病勢、病名）に關する一切
活動 職業 天運（適業、不適業）（天運、成功、不成功、災厄）に關する一切
血縁 家族運 男女縁（父母の縁、夫婦の縁、子供の縁）有無（氣質、相性、相尅、婚期方位）に關する一切
銀行、會社名、商號、家號、會名、雅號、藝名、養子、養女、姓名、生兒名

お醤油は……ヤマフル
醸造元 福島縣平市 山崎合名會社 電話（營業部一〇番 本店二七番）
味噌醤油 たひら正宗 鰹節 食料品
明治生命磐城代理店 山崎與三郎

産科 婦人科 根本醫院
平市南町五二
根本荘次郎
根本貞雄
電話三四番
（病室完備 入院隨時）

物を云ふ校長の內申
某方面では前回以上重視
可憐な受驗生 考査の日近づく

磐女中ト學生によつて何となく慌だしい學年末風景は別項磐中の卒業試驗蓋あけによつて漸く本格化して來たが胸ふたがる甘い感傷の裡にも溢るる喜び、追憶の學窓を巣立つ人々のそれと新に入學を志す可憐な受驗者の焦躁不安と除きにもはつきりした明暗の世界である。磐中磐女の兩縣立及び平商とも考査の方針は既報の如く大体昨春の通りらしいが昨年二百六十名を採つた磐中が十名減の二百五十名にする外平商の志望者增加など相當の異變が來る處にまた新らしい惱みがある。もも一部には從來以上校長の內申を重視し、その成績順位なども各學校の卒業見當激に應じ考査の角度を異にして他へたその公平適正を期せんとするなど改正第二次の試驗丈けに貴重な經驗に基く刷新なども行はる模樣であり、前回に比し一日の進步が見られる事と期待されてゐる

中川東北大學教授講演

磐中では東北帝大法文學部教授中川善之助氏を聘し來る十八日午後一場の講演を乞ふ事になつてゐる。同教授は現代に於ける民法親族篇相續篇の權威であるが過般南洋方面の視察から歸つたばかりで今回の講演もこの方面の習俗法制等に關するものではないかと多大の期待を繋げられてゐる

指名强盜犯人捕る

今署では三春署からの手配により强盜犯人─田村郡瀨川村生れ前科五犯伊藤金八(三六)を檢擧、身柄を猪狩刑事に引渡した

伊藤は去月十二日午後五時頃田村郡御木澤村擔橋地內で某女工(一七)を襲つて現金一圓八十錢入り財布、衣類等を强奪逃走猪狩刑事は以前平署在勤中手にかけた內郷村の辻强盜の事件と酷似してゐるので前記伊藤の犯行とにらみ各署に手配した、伊藤は犯行後郡內に流れ込み去る五日夜內郷村地內で衣類、洋服等を盜んで茨城縣へ高飛びし勿來町で山本サーカス團に入り湯本町でこのサーカス團の虎番をしてゐるところを十三日午後一時綴駐在櫻井巡査に捕れたもの、去る十日植田局に押し入つた犯人も此奴の犯行と見られてゐる

陣中感あり
正月町鈴木道男君
思ひ出の作

目下前線に活躍する市內正月町出身鈴木道男君は昨報『陣中通信』に添へ『蔭に床しき輸送隊』と題する歌詞に『都々逸』を本社に寄せた、陣中足かけ三年の思ひ出の作だと云ふ

○床しき輸送隊

一、海山越えて故ゝ鄕を
偲ぶ露營の草枕
夢よりさめてながむれば
曠漠千里の野の星

二、思へば紅葉も青き時
召出されて三年を
北南支那の野に山に
打ち翻す日章旗

三、身はやゝ手足凍るとも
荒野路阪路又沙漠
燒付くエンジンさましつゝ
丈なす高粱踏わけて

四、月影淡き塹壕に
敵兵壕に戰車壕
崩壞の橋梁地雷火に
泥濘車輪を沒すとも

五、晝夜わかたず襲ひ來る
暴戾飽くなき敗殘兵
不逞の叢の不意打に
嗚呼戰爭は幾そ度

六、赤誠貫く武男の
攻城野戰の功名を
自から他人に讓しは
知れ萬世の國民よ

七、血に染む辛苦重ねつゝ
愛馬と共に國の爲
永遠に散らすは櫻花
蔭に床しき輸送隊

◇都々逸

品(支那)のよいとこ
えりどり見どり
買(勝)つてくるぞと
主の聲

品(支那)は惡いが
來たついでだよ
買(勝)つて歸ると
便り書く

日支事變と時計の針は
二本(日本)カチ／＼
進み行く

中支北支で變らぬものは
犬と赤子の聲ばかり

變るものだよ
戰爭の時にや
フンドシ鉢卷
白だすき

時代即應の新施設
入山礦業練習所
會社關係子弟四十名收容

常磐炭田の將來に備ふる工業學校の設置問題は近來銃後礦業資源の開發に愈よ重大關心を拂はれ來た折に、よつて一段と拍車さい地方有識者間に論議されつゝあるが、右に關し當局の操業上に實際關係を有する入山では會社從業員の子弟にして礦業に從事し又は從事せんとする者に礦業上必要なる知識技能並に國民生活に必要なる教育を爲すの目的の下に「入山礦業練習所」を開設する事となり目下希望者(定員四十名)を募つてゐるが工業子弟憧れの中心たる日立專修學校にも匹敵すべきもので要項次の如く地方中等學校の受驗難が頗る深刻な折柄該當子弟を有する全山勝員從業員から非常に喜び迎へられてゐる

高等小學校卒業及之と同等以上の學力を有する者

修業年限 二ケ年

一學年は主として學科

二學年は主として實習

卒業者全員會社に採用實習手當として在學中一年生に二十錢內外、二年生一日に六十錢內外給與

願書受付 二月末迄

入學考查 イ、學力(簡單なる國語 算術、雜問につき行ふ)

ロ、體格檢查

ハ、操行及志望の確否

ニ、考查期日 三月五日

諸經費增大已むなし
五分減編成は困難か
新豫算更に市長會議へ

「十三年對比五分減」の縣の指示に副ふやう編成を急いでゐる市の十四年度豫算は既報の如く歳出關係の委員會終了によつて青沼市長最後の裁斷を待つのみとなつたが、何せ現在のところ歳出超過約五萬圓に行き惱んでゐることとなつて市長「サテどれを削る?」に迷つて居るらしい、先づ土木費あたりの削減は到底免かれぬとして諸物價の騰昂による定員の增俸や小學校學級增加等で到底縣の指示する「四十萬圓臺の豫算」編成は困難と見られて居り來る十七日以後開かれる第二次縣下市長會議に於ても青沼市長から右編成の困難狀態を縷々說明縣當局の諒解を受けることとなるだらう、青沼市長は語る

こんどの市長會議によつて最後の編成方針が決定されるので未だ申し上げる迄には至つて居らぬが何せやりたい事業も經費の關係で思ふやうでないそれに紹介所の國營に伴ふ町村負擔金等も從來の經費より多くなることも減額にしないであらう、この四月結成される防護團豫算等も考へねばならぬしなか／＼容易な編成ではない

床し!匿名で献金

けふ市役所に匿名で左の手紙に添へ眞綿七百匁と金二十圓を寄託した奇特な女性があつた

別包の眞綿些少ながら傷病兵さんのお蒲團になりとお使ひ戴き度ら御座います尚同封の金二十圓國防婦人會の支部費中へお加へ下さいませ(後略)

柏原君陣歿
騎兵軍曹に昇進

從來幾度か勇壯なる陣中通信を本紙に寄せ、銃後を奮起せしめて居た赤井村出身騎兵伍長柏原四郎君は過般來〇〇病院に入院加療中去る十一日陣歿した旨郷里に入電あつたと、因に同君は此程軍曹に昇進した

陣中を聽く
(337)

皆樣に聞える位に
我が社の萬歲高唱
入山係長 主計少尉 中村豐君

皆樣新年御目出度存じます 最近〇〇も宣撫工作がやゝ段取がついて治安維持會の下地となるべき婦女維持會が結成せられ、十二月二十日はその市內街頭宣傳のため數千の自治會員の老若男女が樂隊入りで賑り歩いたのは壯觀でした。 この指導者が大ていは若い婦人で日本の女子大學や女子醫專、女子齒科醫專出身のインテリー女性だと聞いて皆驚きました、皆特務機關〇〇隊と連絡して熱心に宣撫工作の補助をやつて居ります、こうして抗日の本場たる當地も遠からず治安工作が徹底して來ると思ひます。 然し北中支のやうに簡單に參らぬことは事實です、戰地のお正月も有難い事には〆飾りのし餅まで內地から送つて參ります、內地と少しも變らない年とりが出來ます事を心から喜んで居ります。 當地の入山連中は皆元氣です正月二日には紺野春圭、佐藤多藏、石田幸義、根本萬吉、小林銀一、板橋要、管野彌一、渡邊倉吉、鈴木善次郎、小林健太郎、中村豐の十一名が市內の支那料理屋で盛大なる新年宴會をやつて皆樣に聞へる位に入山炭礦萬歲をさけぶ計劃であります。 終りに皆々樣の健康を祝します。

毎日元氣で
市內田町出身 吉成清君

御無沙汰致して居りまして誠に申譯ありません、御一同樣には御變りありませんか御伺ひ申上げます。 私も御蔭樣にて毎日元氣につとめて居ります故他事乍ら御休心下さい、野砲隊の兄も元氣の樣子故何卒御安心下さい、それから新潟の木戶樣には一方ならぬ御世話になつて居り何とも申譯ありません、新聞雜誌、御神符等を頂いて居ります 私も益々勵んで皆々樣の御恩の萬分の一にも報じたく願ふて居ります、先づは亂筆乍らおわびまで草々。

× × ×

國策映畫『山の使ひ』ロケに
日活幹部連入山へ

日活新映畫『山の使ひ』撮影で山本禮三郎、伊澤一郎兩幹部並に近松里子、橘公子等スター以下一行五十名が去る六日以來來郡、湯本町松柏館を宿として、入山を背景に撮影を進めてゐる この映畫は國家總動員の意を体して世におくる國策新映畫 原作陶山密氏 監督山本弘之氏 十五、六日頃引上げるので平館では今明兩夜幹部連の觀衆への挨拶を取り決めた

磐中試驗開始

磐中五年生に對する卒業試驗は昨十三日から開始、螢雪五年の憶ひ出をつくる最終の試煉は前後六日間來る十八日の土曜日を以て完了し來月七日卒業式を擧行するが其の以外の分も來月初旬執行すると

所在不明壯丁三名

市出身今年度の壯丁で目下所在不明のものが三人居りこの非常時局にあつて遺憾のことだと市役所で調査中

鷹匠町土橋盛 八幡小路若松昇、四丁目深川正

献金

市內一丁目では廢品回收代九十五錢區民獻金四十四名分四圓四十錢計五圓三十五錢を恤兵金として明智區長、高倉青年團長から市役所寄託

平署巡查部長鈴木忠正氏は去る紀元節當日永年勤續者として表彰を受け本田署長から贈られた金十圓を市軍後援會へ寄託

藝者の旅館出入禁止
平市は大半樂觀態度
設備が除外例に該當か

料理代が浮く上に却てしつくりした氣分が味へる」と云つた一石二鳥の打算から一夜を買ふ旅館に藝妓を侍らす事は早くから各方面に行はれて來た特な風習で當局でも特殊の弊害が起らぬ限り、常に寛嚴宜しきを得た取締りに出て來たが今回縣では事變下の風紀改善上之を差止める方針に決定し案を進めてゐることとてこのご法度は此の界隈にとつて少くとも近來の客發音的一大變革であり營業上因て被る影響は可なり少なからぬものあると觀られるが旅館の殆ど悉くが料理店兼業である平市に在つては、十數年以前同樣の問題が論議され當時營業者の設備に關し兼業障害者の間に廓然たる區別を附して來たり今回も此種の營業者に限り兼業を認むる事になるらしいので市內の關係營業者は大体安全地帶の裡に旋風の圏外に惠まるるものと豫想さる

波立藥師日の出祭

双葉郡久之濱町波立藥師では例年の如く舊元日の來る十九日日の出祭を執行、出征勇士の武運を祈願、參拜者には護符を贈る

愛馬歌詞配布

石城產馬畜產組合では陸軍省撰定『愛馬進軍歌』『愛馬行』の歌詞を印刷、各方面に配布して軍馬の勳を讃へてゐる

駒セリ市場統合

石城產馬畜產組合では十六日午前九時評議員會、同十一時總會を何れも平團体事務所に開き駒せり市場統合(五ケ所を三ケ所)に伴ふセリ市場業務規程改正に關し協議

平市慶弔錄

△出生 本籍才槌小路湯本町三函伊藤修氏五男誠君

▲死亡 鯨岡字田中松崎ヤスさん(八四)

十五日 (小名濱測候所發表) 滿潮 前一〇、五五 午後七、一五

新二月十五日 水曜 舊十二月廿七日 癸未 友引 執 壁宿

▲一白 理非をわきまへ卻して我意を行ひ失敗困難すべし▲二黑 家業に精勵を盡せば順調の發達を見るべし▲三碧 一時の有利にひがされて後日の失敗を深む▲四綠 人氣集發して萬事に便宜多かるべく親密吉▲五黃 不安を起すに及ばされど進み過ぐるは不利▲六白 交渉すれば難事遂げ得ざるに非ず短慮警戒▲七赤 意を決して斷行の良策を採るべし猶豫は凶▲八白 七轉び八起きの執着心を以て進めば終に吉▲九紫 諸事順調なる進展を見るも金融關係は注意

文部省習字科檢定委員 國定書方手本筆者 鈴木翠軒先生御選定

◎愛國筆 金拾錢ヨリ 金參拾錢マデ

◎翠軒先生用筆 金二十錢ヨリ 金五圓マデ

平市才士小路 特約販賣店 魁文堂 電話313番

文藝浪曲の創始者

愈よ明晚

待望久しき文藝浪曲の眞髓……藝風天下無比……

酒井雲來る

長講二席熱演

入場料 金壹圓〔稅共〕

日時 二月十五日午後五時開演

場所 聚樂館

◎會員券〔割引〕の御利用を乞ふ

產婦人科 專門

入院隨意 病室完備

平市南町一六番地 大和田醫院 電一七〇番

夜間 診療

胃腸性病

內科 胃腸病科 泌尿器科 性病科 皮膚科

專門

(見習看護婦募集)

松村胃腸性病科醫院 (平市南町 電一〇七番)

家政婦 各御家庭向きの會員を急派致します。

◇會員募集◇ まじめでよく働ける御婦人を募ります。會員御希望の方は御來談下さい(寄宿の便もあり)

◎銃後は共に働きませう

磐城家政婦會 平市五丁目 產婆 猪狩かく方 電話 四九一番

看護婦至急募集 (委細面談)

高柳醫院